

令和5年度 第2回

三田市・神戸市北区・西宮市北部 合同研修交流会

令和6年3月23日(土)14時~16時

三田市総合福祉保険センター

参加者101名(スタッフ含)

◆地域包括ケアシステムの「基本のキ！」を学ぼう

<内容>

☆第1部 講演 「各立場からみた終末期ケアについて」

① 緩和ケア認定看護師の立場から

訪問看護ステーション在宅ホスピス イル ケア 緩和認定看護 森 裕紀子 先生

② 在宅医の立場から

澤外科 院長 粟根 雅章 先生

③ケアマネジャーの立場から

訪問看護ステーションそよかぜ 北垣 佳世子氏

④介護老人保健施設医の立場から

介護老人保健施設 青い空の郷 岡 信行 先生

☆第2部 パネルディスカッション

「支援者である前に一人の人間として最期の瞬間まで自分らしく生きる」

<パネリスト (50音順)>

・粟根 雅章氏 ・岡 信行氏 ・鬼丸 美江氏 ・北垣 佳世子氏

・濱田 聖貴氏 ・森 裕紀子氏

医療介護関係者は、終末期に係わる機会が多く、戸惑い悩みながら「その人らしさ」に寄り添い支援を行っていると思います。今回、それぞれの立場から「終末期のケア」を通して、意思決定支援の実際をお話ししていただきました。「人生会議はこうあるべき」といった正解の形はありません。その時々利用者(患者)さまの状況に応じて介入方法が変わってくる、さりげない日常会話にヒントがたくさん隠されていることなど気づくことが多かったのではないのでしょうか？

時間が足りず、質疑応答の時間が短くなってしまい、参加者の皆さんから「もっと話が聞きたかった」という意見をいただきました。申し訳ございません。

これからも、旧有馬郡地域における専門職の繋がりを強化し、研修交流会を開催していく予定です。

皆さまお忙しいと思いますが、是非ご参加ください。

西宮市北部在宅療養相談支援センター(記:大野)

